



「通常保育」とは言えませんが、6月後半からめばえの慣らし保育も再開でき、2020年の保育がやっと始まったように思えます。

世の中の報道では「コロナ感染者が何名出ました。」「夜の街・昼カラでの感染者が増加しています。」・・・一日の始まりの朝ニュースも仕事帰りの夜のニュースも「コロナ」というキーワードから離れられない生活が続いています。3、4月は物に触れたり、人同士がすれ違うだけでもドキドキする生活でしたが、それぞれの生活のスタイルができつつあり、「人が人を信じて自分のできる予防」をしていくことが大切となってきました。

今回、突然出てきた新型コロナウイルス感染症に右往左往し、すべてが初めての経験に「命をどう守っていくか」が本当に重責でした。幸い身近な方で感染し、大変な辛い思いを強いられた方はいらっしゃいませんでしたが、保育園として今後どう乗り越えていくべきか悩みました。報道では、医療を支える・社会生活を支える・経済を支えるためには保育園の機能を止めてはいけないという声をよくききました。でも保育を行う私たちは「大切な子どもの命を守ること」「感染拡大させてはいけない」が最後まで守れるか、神経をすり減らす毎日でした。こどもたちにどう伝えても体を寄せ合って過ごすことを止めることはできず、就労支援の必要性と感染症を阻止できるかの不安に毎日悩みながらお子様を預かっていました。

6月に「このまま収束するだろう」という国や自治体の予測に半信半疑ではありましたが、通常保育に徐々に戻していきながらもそれぞれの生活に戻っていく今をできれば長く継続していきたい・・・と願うばかりです。保護者の方々と情報共有をして今後もお子様を守っていききたいと思えます。

子どもたちの健全な生活のリズムはが狂ってしまいましたが、新しい生活のルールの中で集団生活のリズムも蘇ってき、今までのようにはいきませんが保育園生活を気負わず進められるようになってきました。

今後も私たち保育者は気を抜くことなく「衛生管理」「密を避ける環境づくり」「子どもたちの心のサポートを行う」ことを職員全体で担い保育を継続していきます。

長期間送り迎えではご面倒をおかけしましたが、7月6日からはまた新しい生活スタイルを進めていきます。

下記の様式を確認いただきこれからの生活の準備をしてください。

- 《登園》 今まで通り玄関先のインターホンで開錠します。
玄関前にある消毒液で保護者の方は消毒してください。
お子様は入室後、保育室にて保育者とともに手洗いします。
- *入館する際の注意
保護者の方は衛生管理上、裸足禁止とします。(必ず靴下を着用してください)
各保育室の前までお子様をお連れ下さい(入室はできません)
：乳児のおむつ交換は保育者が行います。
受け入れの際、健康調査票は必ず保育者に手渡ししてください。
- 《降園》 6月の方式でお子様をお返しします。
16:00まで 玄関
16:00~18:00 園庭側の通用門
18:00以降 玄関

*申し送り

- ・登降園の際の保育者との会話は短く行ってください
- ・体調のすぐれない場合は家庭保育をするとともに発熱のあった場合は必ず受診し、ご家庭で2~3日様子を見ていただきます。
- ・今後も感染状況により閉園する場合がありますので、その状況になった時どうするかを考えておいてください。

今年も園庭の紫陽花は「梅雨を待っていました」と云わんばかりにきれいな花を咲かせてくれました。子どもの砂遊びではその花びらがご飯作りに彩を添えてくれています。

6月は久しぶりに登園してきた子どもたちの笑い声や話し声があちらこちらから聞こえてきました。久しぶりに登園してきた子どもも保護者の方と別れる時には、不安そうになったり、涙する子もいましたが、お友達の顔を見たりいつもと変わらない保育室のおもちゃを見るとほっとするのか、家での様子を話してくれたり、園でこんなことしてみたいと話してくれる子もたくさんいました。園庭では泥んこを楽しみ、園庭で育てている、トマト・きゅうり・おくら・スナップエンドウなどに毎日水やりをし、大きくなる植物の成長を肌で感じています。恒例となってきた、幼児クラスのおやつ時間は園庭で食べる子が増えてきました。もちろんランチルームでも食べることはできますが、お天気の良い日は、特に食事やおやつの時間のソーシャルディスタンスが身に付いてきている子どもの自然な行動となっています。

7月も子どもと共に考え、安全を基本とし楽しめる毎日を過ごしていきます。

主幹保育教諭 藤森寿美

先日、お昼寝の前にシャワーでぬれた髪を乾かしていた時のことです。

「昨日したみたいに、今日もドライヤーして」とAちゃん、髪を乾かしながら話をしていると、「あのね、わたしね、Bちゃんのぜんぶがだいすきな」と教えてくれました。「あたまも、ても、からだもぜんぶだいすき！」表情は見えませんが、とても嬉しそうなAちゃんの気持ちが、言葉を通して伝わってくるようでした。

降園時に保護者の方と共にBちゃんにもそのことを伝えると、照れくささでいっぱいといった様子でした。生まれてきて、いつも傍にいてくれるおうちの方の他に「だいすき」と思ってくれる人がいること、素敵だなあ…なんて幸せなことだろう。と思いました。

きっとBちゃんだけでなく、Bちゃんのことを大切に想うおうちの方も幸せな気持ちでいっぱいになりますよね。

そして、友だちのことを“だいすき”と思えるAちゃんの心の豊かさも感じた出来事でした。

主幹保育教諭 河本 彩奈

～先生コーナー～

6月より育児休暇から復帰しました**宝田聖美**です。

2歳1ヶ月の息子がいます。息子の保育園生活が始まるとこちらも意気込んで入園式をして慣らし保育で泣く息子の姿を見て心を痛めながら頑張っていたところに登園自粛となり、2人で過ごす日々が戻ってきました。そして、1ヶ月経ちまだ安心できる状況でないなか登園し始めましたが、4月の慣らし保育よりもスムーズに進んでいきました。息子は担任の先生にすぐに慣れ日中思いきり遊んでいるようです。お迎えの時にそーっとのぞくと先生とわらべうたをして笑って遊んでいました。こんなにも自然に笑っている息子を見てとても安心しました。私も、めばえ組の担任としてみなさんのお子様も保育園で自然と笑い穏やかに生活できるように寄り添っていきたいです。まだまだ育児と仕事と家事の両立に悪戦苦闘しながら毎日過ごしていますが、保護者の方ともまたたくさんお話できる日を楽しみにしています。

これからもよろしくお願ひ致します。

保育教諭 宝田 聖美

～めばえぐみ～

ねらい：「初めての出会いを楽しむ」

うた：「あめふり・オデコサンラマイテ・かたつむり」

新型コロナウイルスの影響で慣らし保育の延期に協力頂いていましたが、6月から少しずつ短縮してですが再開することができました。久しぶりに会った子どもたちは、つかまり立ちや歩行が出来るようになっていたり、園庭で自分から水の入ったタライに向かったり砂場で遊んだり、身体が大きく成長していることはもちろん、様々なものへの好奇心も大きくなっているようでした。

大好きな保護者の方と初めて離れる保育園生活。新しい人との出会い、新しい遊び、体験…子どもたちの「初めて」に大切に寄り添い、共感し、傍で見守っていきます。

～お部屋の模様替え～

新しい生活様式として、密を避けられるよう保育室の模様替えを行いました。昨年はふたば、めばえが同じ空間で食事や午睡を取っていましたが、できるだけ少人数で過ごせるよう各クラスに分かれて生活していきます。

午睡は間隔をあければえ組の部屋全体を使用する予定です。食事でも保育者と1対1で進め、壁を向き距離も空けて行っています。毎日同じ場所、保育者と食事を行うことで、エプロンをつけた保育者に手を伸ばしたり、自分から机に向かったりする姿も見られるようになりました。「いただきます」「ごちそうさまでした」にあわせてパチパチと手も合わせてくれます。食欲旺盛な子どもたちが多く、手づかみ食べやスプーンを使用し大きくお口をあげ、モリモリ食べていますよ。

また、生活だけでなく遊びの空間も広くなりました。積木や壁面・型落としなど子どもたちそれぞれ好きな遊びを楽しんでいます。



～園庭を探検！～

天気のいい日が多かった6月。めばえ組の子どもたちもお外でたくさん遊びました。

始めは抱っこで過ごしていた子ども達。少しずつ周りへの興味が出始めると自分から手を伸ばしたり、カップやスコップを使いお兄さん・お姉さんの真似っこをする姿も見られるようになりました。新しいお友達に興味津々の幼児さんが「お名前何ていうの?」「これが欲しいの?」「帽子は被ってね」と沢山話しかけてお世話もしてくれていますよ。

みんな水や砂遊びが大好き!お尻や腕が濡れてもにこにこ、へっちゃらで飛沫や感触を楽しんでいます。これから夏に向け、泥んこや氷で遊ぶことも計画中です。初めて触れる物への子どもたちの反応が楽しみです。



“担任の思い”

慣らし保育の延期により、電話でお子様の様子をお尋ねしました。その中で「つい先日手を離して立っていたんです」「色々な種類のを食べていますよ」「園からもらったDVDが大好きで身体を揺らして楽しんでいます」等生活はもちろん、沢山の素敵なエピソードも知ることができました。話を聞けば聞くほど、早く子どもたちに会いたい!その姿を見て見たい!とワクワクしています。

7月は新入のお友達も増え、やっと9人全員がそろいます。今年のめばえ組はどんな遊びが好きなんだろう?どんな楽しいことができるかな?と全員揃っためばえ組での毎日を楽しみにしています。

立田瑛怜菜 宝田聖美 柴原ちはる

～ふたばぐみ～

ねらい：「泡遊び」「お友達と一緒に」

うた：「うみ」「おばけなんてないさ」「ももや」

雨の日が続きじめじめとした日が続きますね。雨が続き園庭で遊びない日はお部屋の中で絵の具やお絵かきをして楽しんでいます。子ども達は一本線や丸などたくさんかけるようになり、直接手や足に絵の具をつけて楽しんだり、筆やローラーを使ってみんなで大きな模造紙に書きました。また「これはなに」と聞くと「ぶー」「ばなな」など言葉で教えてくれます。お部屋での遊びを楽しめる季節でもあるので、片栗粉粘土などお部屋でしかできない遊びも楽しめたらと思います。



～泡遊び～

最近のふたばの子ども達は毎日水や泡遊びに夢中です。泡の中に手を入れて思い切りバシャバシャと自分の顔や身体にかかっても楽しそうに遊んでいます。

またその泡をスコップですくいカップに入れると「みてみて」「ジュース」と言って美味しそうな飲み物を作って「どうぞ」と渡してくれます。またお兄ちゃんやお姉ちゃんが泡立て器を使っているのを見ると手を伸ばして「やりたい」と一緒になって泡をたててお菓子を作っていました。これからもいろいろな泡の遊びを一緒に見つけて楽しんでいきたいです。



～お散歩～

お友達と一緒に歩いて保育園の周り、住宅展示場、バス停などをみんなでお散歩に行ってきました。

いつもとは違う光景に子ども達も「これはなにかな」と楽しそうにわくわくして、車や道端に咲いている花を見つくと「はな！」「ぶーぶ！！」と嬉しそうに指を差して教えてくれます。またお友達の帽子が落ちたりすると「〇〇ちゃん、〇〇くんの帽子」と拾ってかぶせてあげたり、「てって」と言って手を自分から繋いでにこにこ顔を見合わせて笑っています。今後も子ども達と一緒にたくさんお散歩にいき、子ども達の保育園では見れない表情や様子などを一日の様子やお話などでたくさんお伝えしていけたらと思います。



“担任の思い”

何でも「自分でやりたい！」と思うお子さまが増えてきました。外から帰って手を洗う際に水道の蛇口が固くてなかなか水ができない時に保育者が手伝おうとすると「〇〇がする」と自分であきらめず頑張っています。また保育者が絵本を読んでいると絵本を「自分で読みたい」と絵本に手をのばしたり、窓ふきをしているのを見てはけを持ってきて、水で濡らして一緒に窓ふきをしてくれます。本当に大人の行動をよく見ていると感心しています。子ども達のやりたいという気持ちをこれからも大切にしていきながら、いろいろなことを一緒に挑戦していきたいです。

植木 雅・星加 由美子・松岡 桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：「さまざまな感触遊びを友達と一緒に楽しむ」

うた：「たなばた・しゃぼんだま・しりとりのうた」

長かった自粛生活もようやく終わりを迎え、つぼみ組にも子どもたちの元気いっぱいな声に戻ってきました。久しぶりに会うお友だちに自然と笑顔があふれる子どもたち。名前を呼び合いながら楽しそうに遊ぶ姿にこちらほっこりとさせられました。これから暑い夏が始まります。水遊びや泥遊び、身体をいっぱい使って夏らしい遊びをたくさん楽しんでいきたいです。

～雨の日の探検～

園庭に出られない雨の日に、みんなでカップ作りを行いました。ビニール袋にカラーペンでお絵描きを始めると「これどうなるの?」「はやくそとにでたい!」とワクワクが止まらない様子の子もたちでした。そして後日、待ちに待った雨の日!カップを着た子どもたちの園庭探検が始まりました。



「あめつめたいな〜!」と園庭を散歩しながら雨の感触を楽しんでいました。少しの時間でしたが、部屋に戻っても「ずっときていてもいい?」と自分だけのカップにすっかりお気に入りの様子でした。次の日からはまた晴れの日が続いたのですが、「あめふったら、かっぱきてそとでようね!」と雨が降るのを待ち望んでいるこどもたち。梅雨が明けるまでにまた雨の日散歩を楽しみたいと思います。

～生き物との出会い～

4月に捕まえたおたまじゃくしも見事にカエルになり、お部屋ではカエルの観察が大盛り上がりでした。水に溺れないように浮島用の石を入れたり水槽の掃除をしたりと、みなでお世話をしてきました。その影響もあってか、園庭では生き物と触れ合う姿が多くなりました。ダンゴムシはどこにいるのかな〜と草木の間を一生懸命探す姿。見つけたダンゴムシをカップにたくさん入れて嬉しそうに眺める姿。時には大きなカナブンを見つけて不思議そうに虫ごから眺める姿。生き物との出会いが子どもたちの新しい一面を見せてくれた気がします。始めは怖いな・・・と生き物に対して後ろ向きだった子も、周りの友だちの姿を見て今では自ら手に乗せて楽しんでいます。



そして現在、お部屋では新しいおたまじゃくしを飼育中です。実は2種類のおたまじゃくしがいるのですが、大きさの違うおたまじゃくしに既に子どもたちは「こっちの(おたまじゃくし)でかいな!!」と興味津々な様子です。



さあ、次はどんなカエルに変身するのか今からみんなでわくわくしています。

“担任の思い”

自我がしっかりと出てきた子どもたち。自分のことは自分でしたい!思いは最後まで通したい!そういった意思がたくさん伝わるようになりました。時には友だち同士で喧嘩をすることもあります。その中で自分の思いを相手に伝える、相手の声に耳を傾ける、そういったことをたくさん経験してほしいなと思います。保育者も出来る限り子どもたちの姿を見守るようにし、失敗や間違いも一緒に考えて寄り添うことを大切にしています。相手に伝わる嬉しさ、友だちと一緒に過ごす楽しさをこれからも存分に味わってほしいです。

今井 奈沙・小坂橋 円香・尾崎 美緒

～いびき・ひかりぐみ～

ねらい：「泥・水・泡など夏ならではの遊びを楽しむ」「友達の思いを知ろうとする」

うた：「たなばた・うみ」

長い間、自粛期間のなか家庭内保育でみんなに会えない日が続いていました。久しぶりの登園で、友達同士で目が合うとにっこり笑い合い、「一緒に遊ぼう！」と誘う姿が見られました。友達や保育者に会えることに嬉しさを感じていました。かえで保育園にたくさんの笑顔が戻り、保育者も嬉しく思います。

暑い夏が始まりを迎えています。子どもたちは毎日元気に園庭を走り回っています。「水遊びしたい！」という声も上がり水路を作ったりと水遊びも盛り上がっていました。あさがおが咲いていることに気付くと、さっそく色水遊びに取り入れる子も見られました。

～絵画～

いびき組にとっては初めての絵画で「絵画ってなにをするの～？」とときどきわくわく…。イーゼルにキャンバスを立て、はまかぜの3人グループで行いました。テーマはなく、自由に描くことを異年齢で楽しみました。筆やローラー、スタンプなど様々な道具や素材を使って好きな物を選び、自由にのびのびと表現していました。イメージしているものを表現しようと、目的をもって描く姿も見られました。混色や色の違いに気付いたり、手に絵の具を付けて「みてみて～！」と絵の具の感触を楽しみながら手形を付ける様子も見られました。一人ひとり発想も違い、グループごとで個性が出ていました。異年齢で互いの姿を見ながら行うことで、表現方法や道具の使い方を知るきっかけにもなったように思います。これからどんな姿を見せてくれるのか楽しみです。



～雨の日～



雨の日には、かっぱを着て園庭をお散歩しました。入れ物に雨水がどれだけ溜まるか試してみたり、ナメクジやおたまじゃくしから成長したカエルも発見していました。紫陽花も咲きはじめ、氷にしたりと遊びに取り入れていました。お部屋ではジュース作りを楽しんでいました。紙テープと水をボトルに入れて振るとジュースに変身！「これはメロンソーダ」と色んな味をたくさん作って店員さんとお客さんになりきり、ジュース屋さんを開いていました。

～御前浜～

園外保育では、御前浜に行きました。前日には、「砂を持って帰って色砂にしたい」「貝殻を拾いたい」などやりたいことを挙げ、それぞれ目的をもっていました。みんなでかけっこをしたり、様々な貝殻やシーグラスを拾い集めました。カニや貝など海の生き物や自然物に触れる中で、「これは何だろう？」「何の種類？」など子ども同士の関わりから疑問が生まれ、発見した物や不思議に感じたことを友達と共有し、観察したり図鑑で調べ合ったりして考える姿も見られました。その後、ペンで貝殻に好きなものを描いたり、シーグラスでモビールを作ったりと遊びに取り入れて楽しんでいました。



遊びや生活面においても自分で考えたり、自ら挑戦してみたりと子どもたちの姿に毎日驚かされています。異年齢や同じクラスの友達から刺激を受け、いろんな発見や気づきに出会う中で共感し合い、共に悩み喜んだり子ども同士だからこそ様々な気づきや思いが生まれ、通じ合うものがあるのだと日々実感しています。一人ひとりのやってみてほしい気持ちからいつでも経験出来る環境と機会を設け、楽しいことや挑戦したいことを一緒に見つけていきたいと思っています。挑戦しようとする姿をそっと見守り、子どもたちの気持ちを受け止め、時には一緒に考えていきたいです。友達との関わりや興味から遊びが広がる関わりも大切にしていきたいと思っています。

林 奈津美・山本 あかね

～だいちぐみ～

ねらい：「友達のいいところを見つける」「夏の遊びを工夫して楽しむ」

う た：「まあるいいのち」「だいだいだいぼうけん」「うみ」

「今日も御前浜に行く！」と毎週、御前浜に出かけました。貝殻やシーグラス集めに夢中だった5月から魚の骨の観察や波の大きさ、時間によって水の量が変わることなど、毎週行っているからこそ自然の変化に気付いたり楽しさを感じていました。発見した喜びや不思議を分かち合ったり、それぞれが感じたことを話す中で、みんなそれぞれに思いがあって、いいところがあることに気づくきっかけになってほしいと思います。

“いのちはひとつ”

御前浜で見つけたかにを連れて帰りたいと一週間後、御前浜に連れて帰るまで大切にお世話をすることを約束し保育園に連れて帰ってきました。そのまま置いている状態が続き、日に日に見ることも少なくなりそのまま死んでしまいました。数日経ち、死んでいることに気づき、みんなで集まって話し合います。かに同士が喧嘩をしてしまったからか餌を置いたままにしていたからかと死んでしまった理由を考えていました。「〇〇がしてなかったから」「してたと思ったのにな」と他に誰かがお世話してくれているかなと思う言葉も聞こえてきました。ただ触りたかったからだけでは命は戻ってこないことや命を亡くして悲しむ人がいることを伝えました。かにの姿を見ながら「お家に帰れなかったよね」「お父さんお母さん心配してたかな」「寂しかったよね」と少しずつ実感し始めていました。お墓を作りたいと「どこにいるかすぐ分かるから」「もりぴーいっちゃんも好きな場所だから寂しくない」と園庭のアジサイの下、ヤマモモの木の下、いろんな場所が提案されました。家族が待っているかもしれないと御前浜」まで戻してあげることになりました。命について考えることはまだ難しいかもしれませんが、今回の出来事から子どもたちにとって誰にでもある命、だけどひとりにひとつしかない大切な命を少しでも知るきっかけになっていれればと思います。



“どこまで続くの？”

御前浜から山の方を眺めて「この水はどこから来ているの？」「向こうにも海があるの？」と子ども達の中で不思議が高まりました。地図を見ながら川が続いている場所を探していると甲山まで続いていることを知りました。「前のだいちさんが行ってたね」「カブトムシもいるかもね」「木登りできるかな」と思いを膨らませていました。甲山まで行くにはどうするか考えて、御前浜から流れている川沿いを歩くことになりました。出かける前日には地図を見ながら出発地点の保育園の場所やどこを通るか話し合っていました。

園外当日「甲山まで行くぞ！」と意気込んでいざ出発！地図に印をつけながら松の木に登ったり、石を渡りながら進んでいきますが甲山までは遠く…「地図で見ると近そうに見えるけど…遠いね」と地図で見る距離と実際の距離を実感したようです。苦楽園口駅まで着き、このまま甲山を目指すか、保育園に戻るか話し合いがはじまりました。ここまで歩いたから疲れているかな…としましたが「ここまでどうしたら行けるかな…」「やっぱり甲山に行きたい」と“進むこと”の前向きな言葉ばかりでした。次回の楽しみとして「じゃあ次はここからだね」「また来るからね」とひんやり冷たい川に足をつけながらおにぎりを食べました。子どもたちの不思議から始まった今回のお出かけ。次は憧れの甲山を目指して、行き方、やってみたいことを計画中です。



“担任の想い”

御前浜で出会ったかにかから命の儚さ、大切さについて話をしてから、カブトムシやもりぴーいっちゃんのお世話から子どもたちの中でも少しずつ命について考え方が変わりつつあります。また、だいち組がお世話をしている様子を見ていぶきさん、ひかりさんからもカブトムシやもりぴーいっちゃんの観察をしたり、一緒にお世話をしようとする姿も見られます。今回のかにの命や甲山計画など、子どもたちで話し合う機会も増えてきています。自分の考えを話すことで友だちの思いに共感したり、新たな一面を知ったりとみんなで見つけあうなかで、人と関わることの楽しさと自信に繋がってほしいです。

日笠 加菜

保護者の方からのおはなしコーナー

だいち組になって最年長の自覚が生まれた様です。

竹馬や工作など出来ることも増えて、毎日が楽しくて仕方がないようです。

だいち組 まきさん

ほぼ2か月間の自宅から6月になり保育園に行きだすと目の輝きが戻り、親としてうれしくなりました。本人も「保育園」が大好き。だいち組さんみんな揃うとわかった日には前日興奮してなのか眠れず翌朝早起きでした。1年なくなってしまうかもしれませんが楽しい思い出いっぱいつくってほしいです。

だいち組 よしえさん

生き物を触るのが好きな娘。

先日は保育園でかえるを抱っこしたり、かめとにらめっこしたりしていると先生から聞きました。家では図鑑を見て独り言。

頭の中にどんな世界が広がっているのかな？と考えるとクスッと笑ってしまいました。

いろんなことを感じられる園の取り組みに感謝しています。

ひかり組 ゆきさん

いぶき組に進級し、また4歳になりさらにお姉さんになった娘。ここ数ヶ月でずいぶん大人になったなあと感じます。

保育園が大好きで、いただいたDVDを毎日リピート、お歌やダンスはもちろん、先生のセリフまで完コピしていてびっくりしました。

これからも娘らしく、幼児クラスでの生活を楽しんでほしいです。

いぶき組 まちこさん

自粛生活が終わり、仕事や小学校生活で疲れている父、母、姉の中、元気に目をキラキラさせて帰ってくる息子。

「もりぴーといっちゃんかな…」「カブト虫の足はな…うししし」と楽しそうに話してくれます。短くて貴重な保育園生活をこれからもめいっぱい満喫して欲しいなあと思っています。

ひかり組 ようこさん

お喋りすることが増えてきて、同じクラスのお友達を見つけると、〇〇ちゃんや！〇〇くん！と教えてくれます。保育園でした歌遊びをお家でしてくれたり、保育園でお友達や先生と楽しむ遊んでいる姿が目につかび、成長をととても嬉しく感じています。

ふたば組 さきさん

自粛中は「早く保育園に行きたい〜」と何度も言っていました。登園再開時も私の心配をよそに、元気にバイバイしてくれ、トイレも園では成功しているとの事で感心してしまいました。なんでも自分でしたがるようになり、「これ保育園でしてるねん!!」と得意気に教えてくれる笑顔に日々成長を感じています。

つぼみ組 ちほさん

生意気な言動が多くなってきたこの頃。私も耐えれずよく親子ケンカになります。その反面かわいいことも沢山。私が困っているとお手伝いすることある？〇〇がいるから大丈夫だよと励ましてくれます。ママすきすきだよと抱きついてきたりと本当に私を支えてくれています。保育園での出来事も報告してくれます。今日の出来事のお話を毎日楽しみにすごしています。

つぼみ組 よしえさん

☆お台所から☆

じめじめとした梅雨が続きますが、時折、射す強い日差しに夏の訪れを感じます。本格的な夏の季節もすぐそこまで来ているようです。

暑い中、子どもたちはしっかり汗をかき、しっかり水分補給をしています。毎日、何度も「ヒヤリンのコップくださーい！コップ持ってきましたー！」とコップを両手に抱えて持ってきてくれます。暑くなると食欲が落ちてしまいがちですが、食べやすい調理法を工夫して、暑い夏を乗り切れるよう、ごはん・おやつ作りをしていきます。

～今月のおすすめ食材～

7月は梅雨の恩恵を受けたみずみずしくて新鮮な野菜が豊富に収穫される季節です。

夏野菜の中から、今回は「ゴーヤ」についてご紹介します。

この時期旬を迎えるゴーヤは、ストレスや風邪などに対する免疫機能を向上させる働きのあるビタミンCが、きゅうりやトマトと比べて5倍以上含んでいます。その他にも、ゴーヤ独特の苦味成分であるモルジシンは、胃腸を刺激して食欲をわかせるなど、夏バテを防ぐ力になってくれます。この時期意識して食べたい食材です。

☆ゴーヤの栄養成分を逃さない調理方法！

さっとスライスしてから塩もみをするのがおすすめです。ゴーヤの苦味が気になる方は、熱湯で下茹でをしてから、砂糖を混ぜたり、薄く切ったり、マヨネーズと一緒に食べると、苦味を抑えておいしく食べることができます。ぜひ試してみてください。

～7月の献立 旬の食材～

オクラ とうもろこし なす トマト きゅうり 冬瓜 ゴーヤ

6月はお誕生日会を3回行いました。毎回、皆の喜んでいる顔を想像しながら作りました。



4月

パウンドケーキミカン添え



5月

ふんわりケーキバナナ添え



6月

パウンドケーキ果物添え



- 7月4日(土)に同園会があります。開催するか否かずいぶん検討しましたが、ふるさと帰りを待っている卒園生の思いを受け短い時間ですが行います。使用後丁寧に消毒を行います。
- 7月7日(火)は縮小して七夕の会を行います。浴衣を着ての参加は見合わせますが笹飾りは松秀幼稚園から頂き園庭に飾ります。7日夕方にはご家庭にプレゼントいたしますのでご自宅で思いを書いた短冊を飾って楽しんでください。
- 外遊びが盛んになりました。夏の間、何度か業者による害虫駆除(蚊・ゴキブリ)を行います。
- 6月11日福井先生が無事女児を出産しました。
- 7月7日より原田先生が産休に入ります。

こんなことしたよ♪

18日(木)に4月のお誕生日会、24日(水)に5月のお誕生日会、30日(火)に6月のお誕生日会がありました。

新型コロナウイルスの影響で延期になりましたが、無事カードも渡し、お祝いすることができました。保育者からのプレゼントは、4月はあじさいなど保育園にある植物で葉っぱスタンプを行い、5月は水と油のアートをしました。6月は先生のピアノの連弾で「にじ」を演奏し、手話や歌を楽しみました。にこにこ広場で時間短縮しながら行いました。久しぶりに皆の笑顔が見られました。



- 体調管理をしてください。やっと通常保育が戻ってきましたが、新型コロナウイルスが終息したわけではありません。お子様の発熱・体調不良の場合は保育はできません。登園時の検温でも微熱があった場合もお迎えを要請します。ご理解、ご了承ください。また、解熱しても2~3日はご家庭で様子を見ていただき無理をして登園することは避けてください。

• 毎日体拭きタオルを持ってきてください

先日、よいこネットでお知らせしましたお子さまの清潔を保つために手足・顔を洗ったり暑い日はシャワーを開始しています。

袋・タオルに名前を書いてください。

- 着替え等は持ち帰った分を翌日持ってきて頂くようご準備ください

- 暑い日でも水分補給は冷たいものでなく常温水をこまめに摂取してください。

ひやりんは常温で提供しています。

- 幼児パンツの貸し出しはありません。不足の時は買い取りとなります。次月の諸費で請求させていただきます。(1枚250円です)

- 7月中旬~9月上旬にかけて職員が夏休みをとらせて頂きます。職員全体で保育を進めていきます。

8月(夏季保育8日~17日)は家庭保育にご協力下さい。



7月予定

※体操： 2日から再開します。

※絵画： 15日(水) 29日(水)で行います。

4日(土) 同園会

7日(火) 七夕の集い

17日(金) 月例健診予定

22日(水) 誕生会

8月予定

8日(金)~17日(月) 夏季保育